

① 「ディレクトフォース」の感想文

私はIEAについて詳しく知りませんでした。田中先生のお話を聞き、石油価格の調整を主な仕事だと知り、非常に驚きました。私は昔から理系の道を進もうと思っていたので、世界の経済の成り立ちには興味がなく、そのようなお仕事があると考えたことがなかったからです。石油をあらかじめ備蓄しておき、石油が減少して、石油価格が急上昇した際、備蓄していた石油を市場に出すことで、経済を安定させることは確かに重要だとも思いました。私たちの生活は石油製品によって支えられているといっても過言ではありません。IEAなどの方々のおかげで日々平穏に暮らせるのだと感じました。私が興味深いと思ったのは、石油を高く売りたいと考える石油輸出国機構と石油価格を安定させたいと考えるIEAが、ライバル同士かと思えば、実は仲が良いということです。田中先生が見せてくださった写真は本当に仲がよさそうでした。また、そこでしか聞くことができないような話をしてくださいました。中国のGDPは年々増加しているにもかかわらず、エネルギー消費量があまり上がっていないことに驚きました。なぜだろう、世界の工場ともいわれているほど生産量も多く、人口も多いのに、と私は理由を考えたものの、原因がわかりませんでした。答えは第二次産業から第三次産業に打つ列つかるからだそうです。インドもこのようになっていくと聞きました。田中先生は常に世界に目を向けていらっしゃると思いました。ヨーロッパのエネルギーについては、集团的エネルギーの安全保障と持続的可能性、多様性+連携+原子力。そして、日本が中東に依存しないためにもロシアとの関係を良好にしておくともおっしゃっていました。ゴビテック計画、アジアスーパーグリッド構想については非常に面白いと思いました。エネルギー問題は世界全体で取り組むべきだとは考えていましたが、私は再生可能エネルギーの普及、開発などしか考えていませんでした。しかし、エネルギーがなくなり、困ったときの対応策など考えたことはありませんでした。

私は将来、再生可能エネルギーの開発に携わる仕事をしてみたいとも思っています。そのため、今回の公演では、そういった話が聞けるのではないかと期待しておりました。しかし、良い意味で裏切られました。私は、エネルギー問題は世界全体で取り組み、解決しなければならないと感じておりましたが、今回聞かせていただいたような具体的なことを考えていませんでした。また、私は理系の人にあこがれていましたが、その方々を支えているのが文系の方々なのだと考えさせられました。私は視野が狭い人間だと思いました。今回の公演を聞き、理系から文系に変える、ということは考えませんでした。もし私が将来理系の仕事に就くことができたとき、社会を考えるの方々のおかげで仕事ができるということを考えて働くべきだと思いました。

講師の方々と話をさせていただいたとき、ためになる話が多かったです。志望大学を決める際、レベルではなく自分がやりたいこと、好きなことができる大学を選ぶとよいと

いわれました。やはり、自分が将来やりたいことをより明確にしておくべきだと思いました。また、世の中はすでにグローバル化されており、元に戻そうとしても戻すことはできない、だからイギリスのように孤立主義はやめるべきだと言っておりました。では、どのように生きていくべきか、それは外国人に負けないように能力を、特にロジック能力を高めなければならないとおっしゃいました。日本は以心伝心の考え方をしているが、例えばKYといった言葉があるが、それは外国では通じないため、日本人はもっと自己主張するべきだ、ということを知りました。

私は自己主張がなかなかできません。しかし、もし自分がエネルギー問題について深くかかわっていくには世界に出なければなりません。そのためにも、今からロジック能力を上げなくてはならないと思いました。

このような体験ができたことで、自分の視野が広がり、考え方も変わりました。とても良い経験ができました。ありがとうございました。

## ② 「OBOGによる懇談会」の感想文

非常にためになる経験でした。私は東大について全く知らなかったもので、実際に話を聞いて校風がわかりました。まず驚いたのが、文理を大学入学後に変更できることです。確かに、文理では二次試験の受験科目があまり変わらないのは知っていました。例えば理系でも国語の試験があったりするといったことなど、東大を受けた兄を非常に困らせていたのでその時にも驚きました。しかし、OBOGによる懇談会に参加して下さった先輩方にも文理を変えていらっしゃる先輩もたくさんいました。東大は専門的な内容に特化させようとする大学ではなく、総合的に優れた学生を集めようとしている大学なのだと思います。文理を簡単に換えられるということは、どちらも入学前の試験でレベルが問われているのだと思います。逆に、私が夏に個人的に行った東工大は専門的な内容に特化させようとしている大学でした。一類から七類まであり、すべてが理系の内容で、東大と真逆のように感じました。私自身は専門的な内容を学びたいと思っているため、あまり東大は合わないと思いました。実際、東大を受けた兄に聞いたところ、総合力が必要だと言っていました。先輩方は、文理迷っているのならば、東大目指して頑張り、入学後に文理を考えてもいいと思う、とおっしゃっていました。

そして、勉強方法や、一人暮らしなども色々教えていただきました。毎日学校からそのまま塾に行き、自習してから家に帰っていたとっていました。私も見習うべきだと思いました。また、今のうちから料理などの家事ができると上京しても困らないからやっておくと良いともっていました。そして、英語は一年生のうちに単語と文法を終わらせておくと後々良いと、その先輩は一週間に英単語を500語覚えていたそうです。流石東大合格した人だなと思いました。ほかの方は、ずる賢くやると良いと言っていました。内職している先輩方が多く、驚きました。中には大学に行かず、自分で起業して働

いている先輩もいました。東大受かった先輩方は、とても自分の考えを大事にする方が多かったです。それは言い換えれば「自己主張」であり、ディレクトフォースでの話にもつながることだと思いました。

私が最も参考になったと思うのは、懇談会後に直接農学部で学んでいる先輩に話が聞けたことです。私は昔から工学部を目指していたのですが、東北大学の科学者の卵養成講座で農学部の教授の講演を聞き、農学部にも興味があります。そのため、物理選択を生物選択にしてもよいのではないかと悩んでいたからです。二人の農学部の先輩方は、一人は農学部でも物理を使っていると、もう一人は使っていないとおっしゃいました。しかし、生物は独学でなんとかなるものの、物理はそうはならないから、迷っているならば物理を選択したほうが良いと教えてくださいました。また、東工大にも行き、工学部もやはり良いと思ったため、そのまま物理選択にするつもりです。大学受験にかかわることをしっかり決めることが出来、良かったです。この経験を生かして、自分の将来をしっかり定めようと思います。